



《色とりどり》

## 1. 概況(雑感)

桜の花を見ながらの学位記授与式、温暖化の影響のためだろうか。入学宣誓式に桜が散っていないか心配である。後期試験が終わり、春期の休業に入ろうとしたころ、学生たちから休み中もセンターを開けてほしいとの要望があり、今年度はコアタイムを設けて開室した。利用者のほとんどは3年次生で、公務員試験やSPI対策と就職のためのエントリーや自己PR文の添削といった対応を行った。昨年までは春期の休業中に利用した学生はほぼ皆無であった。就職氷河期といわれ大学生の内定率が80%という昨今、そのためか就職に対する学生たちの意識も例年になく真剣である。

今年度の総利用者数は15,421名〔2008年度 13298人、2007年度 11075人〕であった。2004年度に開設されて以来、毎年2,000人ペースで利用者が増え続けている。センター開設当時から学習支援は1年次生の基礎教育科目を中心にサポートを行ってきており、開設以後の4年間はリピーターの利用による利用者増は理解できるのだが、その後の2008年度と今年度もさらに2,000人ペースで増加している。学習スペースの拡充をはじめとするセンターの学習環境を整備してきたことは言うまでもないが、友と楽しく学習できるスペースであることが最大の要因であろうか。今年度は99.5パーセントが工学部の学生による利用であり、2010年度からは新学部、新学科の開設により、センターも全学化の色が濃くなる方向で動いている。現有勢力のままで、利用者の動向がつかめない現在の状況に一抹の不安を抱えるが、センターが学生たちのよりよき学習の場であってほしいと願っている。

## 2. 利用状況[2月1日~3月31日]

総利用者数 1063人〔2008年度 488人、2007年度 730人〕

36.4人/日〔学習相談1063人(29日)、補習授業0人〕

### 1) 利用統計

学年別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
1年生	340人	308人	620人
2年生	382人	167人	66人
3年生	323人	9人	43人
4年生	15人	3人	0人
その他	3人	1人	1人

〔※その他 留学生・留年生・大学院生の利用〕

科目別利用者数 (全学部延べ人数)

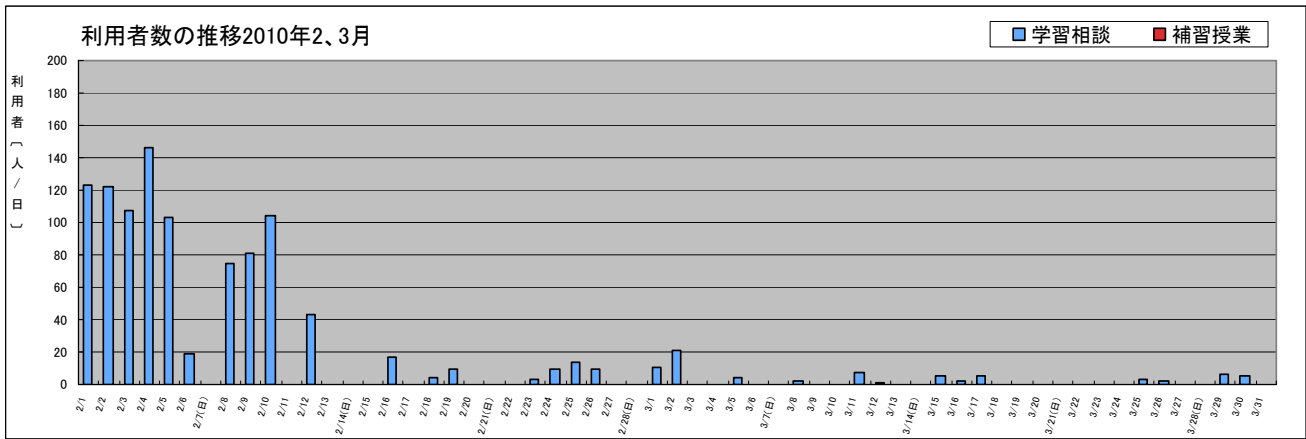
年度	2009	2008	2007
数学	242人	247人	325人
物理	103人	131人	192人
英語	0人	20人	17人
情報	1人	1人	0人
化学・生物	0人		
専門・一般	141人	89人	196人
自習	526人		
その他	50人		

学科・学部別利用者数 (延べ人数)

学部	年度	2009					合計	2008	2007
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年以上			
工学部	C科	23人	2人	41人	0人	0人	66人	21人	63人
	A科	105人	133人	9人	0人	0人	247人	94人	245人
	E科	93人	113人	248人	7人	0人	461人	222人	242人
	M科	83人	87人	15人	6人	0人	191人	86人	84人
	B科	33人	42人	10人	2人	0人	87人	54人	86人
経営情報学部		3人	0人	0人	0人	0人			
法学部		0人	5人	0人	0人	0人			
外国語学部		0人	0人	0人	0人	0人	11人	11人	10人
薬学部		0人	0人	0人	0人	0人			
大学院			0人	留学生別科		3人			

2月と3月の利用状況を学部・学科別に示した。前年度までは、学年による利用の偏りが見られたが、今年度は1年次生から3年次生まで満遍なく利用している。数学、物理の利用者数は減ってきているが、専門科目や自習による利用者が圧倒的に増えている。科目別利用者数のその他の人数は、SPIや公務員試験対策の相談で、4年次生では卒研(ゼミ)関係の相談が今月も多かった。

## 2) 利用者の推移



2月と3月の利用者の推移を表にした。2月初旬の試験期の利用者数は数字の上では通常授業時の利用者数とかわりないのだが、長時間粘る学生が多いため、支援室の机はほぼ埋まった状態であった。試験期が終わり春期の休業中も、コアタイムを設けて支援室を開けたため、利用者数のグラフに突起が見られる。利用のほとんどは3年次生で、公務員試験やSPI対策など就職のための学習相談が主なものであった。

## 3) 春期休業中の利用状況

右に春期休業中の利用状況を示した。開室予定日を色わけした同様の表をセンターの掲示板に掲示して、学生には知らせた。コアタイムを12時～14時とし、スタッフが業務で在室する間は、センターを開けて対応した。右下の数字はその日の利用者数である。

日	月	火	水	木	金	土
14	15	16	17	18	19	20
			17		4	9
21	22	23	24	25	26	27
		3	10	14	9	
28	3/1	2	3	4	5	6
		11	21			4
7	8	9	10	11	12	13
		2	0	7	1	
14	15	16	17	18	19	20
		5	スクーリング準備 2	スクーリング準備 5	スクーリング	スクーリング
21	22	23	24	25	26	27
			学位記授与式	3	2	
28	29	30	31	4/1	2	3
		6	5			

## 3. 23月のトピックス

\* [2月8日(月)]

総利用者数が15000人を超えた。

\* [2月12日(金)]

入学前教育通信制添削問題の第4次発送業務を行なった。対象となる学生に採点答案(C, A, R科は数学の第4回目、E科とM科は物理の第2回目)を送付した。TAの協力を得て、スムーズに業務を終えることができた。

\* [3月8日(月)]

入学前教育通信制添削問題の第5次発送業務を行なった。高等学校には入学前教育通信制添削が終了した旨の礼状とアンケートを、また対象となる学生に採点答案(C, A, R科は数学の第5回目、E科とM科は物理の第3回目)を送付した。

\* [3月16日(火)]

第2回教育センター運営委員会が行われた。議題として教育センターの名称変更等と学習支援内容の充実についての報告であった。

\* [3月17日(水)]

拓殖大学より青木茂先生が本学支援室の視察にこられた。10～12時まで双方の支援室の現状の報告をしながら意見交換ならびに情報交換を行った。拓殖大学のスタッフは高等学校長経験者や有名進学校の退職者などで構成されているようであるが、利用者が一向に伸びず、本学におけるノウハウを調査にこられた。

\* [3月18、19日(木、金)]

入学前教育受講者を対象としたスクーリングを行った。今年度は2日間で68人の参加があった。前年度よりもきびきとした学生が多く、2日間とも予定の時間を余すほどであった。

\* [3月26日(金)]

工学部教育センター運営委員会が行われた。今年度の活動報告(学習支援と教育開発)と次年度の課題について話し合われた。

2010. 4. 1 [月報作成 菅波 昌広]

バックナンバーはこちらです。⇒<http://sprite.eng-scl.setsunan.ac.jp/monthly-report.html>